

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-1-1 事業名 道路事業（市街地相互接続道整備）（東部 86 号線）		
事業費総額 190,756 千円（国費 147,836 千円） （内訳：本工事費 112,874 千円、測量設計費 29,906 千円、用地費及補償費 47,976 千円）		
事業期間 平成 24 年度～平成 30 年度		
事業目的 東日本大震災により被災した地域から、市内の津波による被害がない安全な地域まで確実に通行できる道路を整備し、地域住民の生活の安全性・利便性の向上、及び地域経済産業の早期回復を図る。		
事業地区 相馬市原釜地区		
事業結果 原釜字北谷地地区と市街地の相互接続道を整備し、平成 29 年度から供用を開始。 【整備概要】 延長 L=848.7m、舗装幅員 W=5.0m		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>整備前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>整備後</p> </div> </div>		
事業の実績に関する評価		
①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 本事業により、災害発生時に安全な市街地へ確実に通行できる道路を整備したことで、原釜字北谷地地区（令和 3 年 3 月末現在 3 世帯 5 名が居住）の地域住民の生活の安全性、利便性の向上に寄与している。		
②コストに関する調査・分析・評価 本事業は、指名競争入札により事業発注している。また、再生材や現場発生材を有効活用して実施しており、コストは適切なものとする。		
③事業手法に関する調査・分析・評価		
	当初想定した事業期間	実際に有した事業期間
測量・設計	平成 24 年 6 月～平成 25 年 3 月	平成 24 年 6 月～平成 28 年 12 月
用地買収	平成 24 年 12 月～平成 26 年 3 月	平成 26 年 9 月～平成 30 年 10 月
工 事	平成 25 年 10 月～平成 27 年 3 月	平成 27 年 3 月～平成 30 年 3 月
相続未了地や所有権以外の権利が登記された土地の用地交渉、及び道路法線に係る地元調整に不測の日数を要したことから、測量・設計及び用地買収の事業期間が当		

初の想定より延長となった。用地買収については、事前に地権者等に了解を得た上で着工し、工事と並行しながら買収手続きを進めることで事業期間全体の短縮を図った。

また、当時は復興工事が各地で重なり、労働者確保や他工事との工程調整に時間を要したが、全体的なスケジュールを見直し、円滑な事業進捗を図ったことにより、類似事業と同程度の工程とすることができ、利用等には問題がなかったことから、事業手法は適切であったと評価できる。

事業担当部局

相馬市建設部土木課 電話番号：0244-37-2158

位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-1-2 事業名 道路事業（市街地相互接続道整備）（東部 113 号線）		
事業費総額 118,448 千円（国費 91,797 千円） （内訳：本工事費 60,635 千円、測量設計費 17,610 千円、用地費及補償費 40,203 千円）		
事業期間 平成 24 年度～平成 30 年度		
事業目的 東日本大震災により被災した地域から、市内の津波による被害がない安全な地域まで確実に通行できる道路を整備し、地域住民の生活の安全性・利便性の向上、及び地域経済産業の早期回復を図る。		
事業地区 相馬市尾浜地区		
事業結果 尾浜字高塚地区と市街地の相互接続道を整備し、平成 29 年度から供用を開始。 【整備概要】 延長 L= 235.0m、舗装幅員 W=5.0m		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>整備前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>整備後</p> </div> </div>		
事業の実績に関する評価		
①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 本事業により、災害発生時に安全な市街地へ確実に通行できる道路を整備したことで、尾浜字高塚地区（令和 3 年 3 月末現在 122 世帯 338 名が居住）の地域住民の生活の安全性、利便性の向上に寄与している。		
②コストに関する調査・分析・評価 本事業は、指名競争入札により事業発注している。また、再生材や現場発生材を有効活用して実施しており、コストは適切なものとする。		
③事業手法に関する調査・分析・評価		
	当初想定した事業期間	実際に有した事業期間
測量・設計	平成 24 年 6 月～平成 25 年 3 月	平成 24 年 6 月～平成 28 年 12 月
用地買収	平成 24 年 12 月～平成 26 年 3 月	平成 25 年 7 月～平成 30 年 6 月
工 事	平成 25 年 10 月～平成 27 年 3 月	平成 28 年 3 月～平成 30 年 3 月
相続未了地や所有権以外の権利が登記された土地の用地交渉、及び道路法線に係		

る地元調整に不測の日数を要したことから、測量・設計及び用地買収の事業期間が当初の想定より延長となった。用地買収については、事前に地権者等に了解を得た上で着工し、工事と並行しながら買収手続きを進めることで事業期間全体の短縮を図った。

また、当時は復興工事が各地で重なり、労働者確保や他工事との工程調整に時間を要したが、全体的なスケジュールを見直し、円滑な事業進捗を図ったことにより、類似事業と同程度の工程とすることができ、利用等には問題がなかったことから、事業手法は適切であったと評価できる。

事業担当部局

相馬市建設部土木課 電話番号：0244-37-2158

位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-1-3 事業名 道路事業（市街地相互接続道整備）（東部116号線）		
事業費総額 15,714千円（国費12,178千円） （内訳：本工事費13,060千円、測量設計費1,248千円、用地費及補償費1,406千円）		
事業期間 平成24年度～平成29年度		
事業目的 東日本大震災により被災した地域から、市内の津波による被害がない安全な地域まで確実に通行できる道路を整備し、地域住民の生活の安全性・利便性の向上、及び地域経済産業の早期回復を図る。		
事業地区 相馬市尾浜地区		
事業結果 尾浜字南ノ入地区と市街地の相互接続道を整備し、平成29年度から供用を開始。 【整備概要】 延長L=110.3m、舗装幅員W=5.0m		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>整備前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>整備後</p> </div> </div>		
事業の実績に関する評価		
①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 本事業により、災害発生時に安全な市街地へ確実に通行できる道路を整備したことで、尾浜字南ノ入地区（令和3年3月末現在83世帯200名が居住）の地域住民の生活の安全性、利便性の向上に寄与している。		
②コストに関する調査・分析・評価 本事業は、指名競争入札により事業発注している。また、再生材や現場発生材を有効活用して実施しており、コストは適切なものとする。		
③事業手法に関する調査・分析・評価		
	当初想定した事業期間	実際に有した事業期間
測量・設計	平成24年6月～平成25年3月	平成24年6月～平成28年12月
用地買収	平成24年12月～平成26年3月	平成26年1月～平成26年12月
工 事	平成25年10月～平成27年3月	平成28年1月～平成29年5月
相続未了地や所有権以外の権利が登記された土地の用地交渉、及び道路法線に係		

る地元調整に不測の日数を要したことから、測量・設計及び用地買収の事業期間が当初の想定より延長となった。用地買収については、事前に地権者等に了解を得た上で着工し、工事と並行しながら買収手続きを進めることで事業期間全体の短縮を図った。

また、当時は復興工事が各地で重なり、労働者確保や他工事との工程調整に時間を要したが、全体的なスケジュールを見直し、円滑な事業進捗を図ったことにより、類似事業と同程度の工程とすることができ、利用等には問題がなかったことから、事業手法は適切であったと評価できる。

事業担当部局

相馬市建設部土木課 電話番号：0244-37-2158

位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-1-4
事業名 道路事業（市街地相互接続道整備）（法定外道路）

事業費総額 115,973千円（国費 89,879千円）
 （内訳：本工事費 69,783千円、測量設計費 8,510千円、用地費及補償費 37,680千円）

事業期間 平成24年度～平成29年度

事業目的

東日本大震災により被災した地域から、市内の津波による被害がない安全な地域まで確実に通行できる道路を整備し、地域住民の生活の安全性・利便性の向上、及び地域経済産業の早期回復を図る。

事業地区

相馬市尾浜地区

事業結果

尾浜字平前地区と市街地の相互接続道を整備し、平成28年度から供用を開始。

【整備概要】

延長 L=268.4m、舗装幅員 W=5.0m



整備前



整備後

事業の実績に関する評価

①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

本事業により、災害発生時に安全な市街地へ確実に通行できる道路を整備したことで、尾浜字平前地区（令和3年3月末現在79世帯210名が居住）の地域住民の生活の安全性、利便性の向上に寄与している。

②コストに関する調査・分析・評価

本事業は、指名競争入札により事業発注している。また、再生材や現場発生材を有効活用して実施しており、コストは適切なものとする。

③事業手法に関する調査・分析・評価

	当初想定した事業期間	実際に有した事業期間
測量・設計	平成24年6月～平成25年3月	平成24年6月～平成29年10月
用地買収	平成24年12月～平成26年3月	平成26年2月～平成29年9月
工事	平成25年10月～平成27年3月	平成27年12月～平成28年10月

相続未了地や所有権以外の権利が登記された土地の用地交渉、及び道路法線に係る地元調整に不測の日数を要したことから、測量・設計及び用地買収の事業期間が当

初の想定より延長となった。事前に地権者等に了解を得た上で着工し、用地買収及びそれに伴う調査委託（測量・設計）については工事と並行しながら進め、事業期間全体の短縮を図った。

また、当時は復興工事が各地で重なり、労働者確保や他工事との工程調整に時間を要したが、全体的なスケジュールを見直し、円滑な事業進捗を図ったことにより、類似事業と同程度の工程とすることができ、利用等には問題がなかったことから、事業手法は適切であったと評価できる。

事業担当部局

相馬市建設部土木課 電話番号：0244-37-2158

位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-1-5 事業名 道路事業（市街地相互接続道整備）（東部123号線）		
事業費総額 222,476千円（国費172,419千円） （内訳：本工事費178,335千円、測量設計費2,057千円、用地費及補償費42,084千円）		
事業期間 平成24年度～平成29年度		
事業目的 東日本大震災により被災した地域から、市内の津波による被害がない安全な地域まで確実に通行できる道路を整備し、地域住民の生活の安全性・利便性の向上、及び地域経済産業の早期回復を図る。		
事業地区 相馬市原釜地区		
事業結果 原釜字戸崎地区と市街地の相互接続道を整備し、平成29年度から供用を開始。 【整備概要】 延長L=735.8m、舗装幅員W=5.0m		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>整備前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>整備後</p> </div> </div>		
事業の実績に関する評価		
①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 本事業により、災害発生時に安全な市街地へ確実に通行できる道路を整備したことで、原釜字戸崎地区（令和3年3月末現在4世帯4名が居住）の地域住民の生活の安全性、利便性の向上に寄与している。		
②コストに関する調査・分析・評価 本事業は、指名競争入札により事業発注している。また、再生材や現場発生材を有効活用して実施しており、コストは適切なものとする。		
③事業手法に関する調査・分析・評価		
	当初想定した事業期間	実際に有した事業期間
測量・設計	平成24年6月～平成25年3月	平成24年6月～平成26年3月
用地買収	平成24年12月～平成26年3月	平成26年2月～平成29年2月
工 事	平成25年10月～平成28年3月	平成26年11月～平成30年3月
相続未了地や所有権以外の権利が登記された土地の用地交渉、及び道路法線に係る地元調整に不測の日数を要したことから、測量・設計及び用地買収の事業期間が当		

初の想定より延長となった。

また、当時は復興工事が各地で重なり、労働者確保や他工事との工程調整に時間を要したが、全体的なスケジュールを見直し、円滑な事業進捗を図ったことにより、類似事業と同程度の工程とすることができ、利用等には問題がなかったことから、事業手法は適切であったと評価できる。

事業担当部局

相馬市建設部土木課 電話番号：0244-37-2158

位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-1-6 事業名 道路事業（市街地相互接続道整備）（日下石石上線）		
事業費総額 3,659,188 千円（国費 2,835,867 千円） （内訳：本工事費 3,456,403 千円、附帯工事費 4,623 千円、測量設計費 51,622 千円、用地費及補償費 146,540 千円）		
事業期間 平成 24 年度～令和 3 年度		
事業目的 東日本大震災により被災した地域から、市内の津波による被害がない安全な地域まで確実に通行できる道路を整備し、地域住民の生活の安全性・利便性の向上、及び地域経済産業の早期回復を図る。		
事業地区 相馬市岩子地区		
事業結果 岩子字数馬地区と市街地の相互接続道を整備し、令和 3 年度から供用を開始。 【整備概要】 延長 L=2679.9m、舗装幅員 W=9.75m		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>施工区域</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; text-align: center;">整備前</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; text-align: center;">整備後</div> </div>		
事業の実績に関する評価		
①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 岩子字数馬地区には令和 3 年 3 月末現在で、26 世帯 86 名が居住している。 事業目的のとおり、被災した地域から市内の津波による被害がない安全な地域まで確実に通行できる舗装幅員 W=9.75m の道路となり、地域住民の生活の安全性、利便性の向上させるものとなっている。		
②コストに関する調査・分析・評価 本事業は、指名競争入札により事業発注している。また、再生材や現場発生材を有効活用して実施しており、コストは適切なものと考えている。		
③事業手法に関する調査・分析・評価		
	当初想定した事業期間	実際に有した事業期間
測量・設計	平成 24 年 6 月～平成 25 年 3 月	平成 24 年 6 月～平成 26 年 6 月
用地買収	平成 24 年 12 月～平成 25 年 3 月	平成 27 年 2 月～平成 29 年 10 月
工 事	平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月	平成 26 年 12 月～令和 4 年 1 月

道路線形について地元との調整に不測の日数を要したこと、また道路用地に相続未了地や所有権以外の権利が登記された土地等があり、測量・設計及び用地買収に当初想定した期間よりも時間を要した。

また、災害復旧工事などの他工事との調整にも不測の時間を要した。さらに、令和元年東日本台風により被害を受けたことや、新型コロナウイルス感染症による資材の入手難等もあり、関連する事業を含め、全体的なスケジュールを見直す必要が生じたが、他工事との工程調整を行い、円滑な事業進捗を図ることができた。

加えて、工事期間中は仮橋等による迂回路を設置し、住民の交通の妨げにならないように施工しており、事業手法は適切であったと評価できる。

事業担当部局

相馬市建設部土木課 電話番号：0244-37-2158

位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-1-7
事業名 道路事業（市街地相互接続道整備）（東部 327 号線）

事業費総額 96,683 千円（国費 74,929 千円）
 （内訳：本工事費 59,815 千円、附帯工事費 595 千円、測量設計費 11,550 千円、用地費及補償費 24,723 千円）

事業期間 平成 24 年度～平成 29 年度

事業目的

東日本大震災により被災した地域から、市内の津波による被害がない安全な地域まで確実に通行できる道路を整備し、地域住民の生活の安全性・利便性の向上、及び地域経済産業の早期回復を図る。

事業地区

相馬市岩子地区

事業結果

岩子字坂脇地区と市街地の相互接続道を整備し、平成 28 年度から供用を開始。

【整備概要】

延長 L=671.3m、舗装幅員 W=5.0m



整備前



整備後

事業の実績に関する評価

①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

本事業により、災害発生時に安全な市街地へ確実に通行できる道路を整備したことで、岩子字坂脇地区（令和 3 年 3 月末現在 16 世帯 53 名が居住）の地域住民の生活の安全性、利便性の向上に寄与している。

②コストに関する調査・分析・評価

本事業は、指名競争入札により事業発注している。また、再生材や現場発生材を有効活用して実施しており、コストは適切なものとする。

③事業手法に関する調査・分析・評価

	当初想定した事業期間	実際に有した事業期間
測量・設計	平成 24 年 6 月～平成 25 年 3 月	平成 24 年 6 月～平成 26 年 3 月
用地買収	平成 24 年 12 月～平成 26 年 3 月	平成 26 年 1 月～平成 30 年 1 月
工 事	平成 25 年 10 月～平成 27 年 3 月	平成 25 年 7 月～平成 28 年 10 月

相続未了地や所有権以外の権利が登記された土地の用地交渉、及び道路法線に係

る地元調整に不測の日数を要したことから、測量・設計及び用地買収の事業期間が当初の想定より延長となった。用地買収については、事前に地権者等に了解を得た上で着工し、工事と並行しながら買収手続きを進めることで事業期間全体の短縮を図った。

また、当時は復興工事が各地で重なり、労働者確保や他工事との工程調整に時間を要したが、全体的なスケジュールを見直し、円滑な事業進捗を図ったことにより、類似事業と同程度の工程とすることができ、利用等には問題がなかったことから、事業手法は適切であったと評価できる。

事業担当部局

相馬市建設部土木課 電話番号：0244-37-2158

位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-1-8 事業名 道路事業（市街地相互接続道整備）（東部 339 号線）		
事業費総額 4,059 千円（国費 3,146 千円） （内訳：本工事費 3,201 千円、測量設計費 841 千円、用地費及補償費 17 千円）		
事業期間 平成 24 年度～平成 27 年度		
事業目的 東日本大震災により被災した地域から、市内の津波による被害がない安全な地域まで確実に通行できる道路を整備し、地域住民の生活の安全性・利便性の向上、及び地域経済産業の早期回復を図る。		
事業地区 相馬市岩子地区		
事業結果 岩子字坂脇地区と市街地の相互接続道を整備し、平成 26 年度から供用を開始。 【整備概要】 延長 L=51.7m、舗装幅員 W=5.0m		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>整備前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>整備後</p> </div> </div>		
事業の実績に関する評価		
①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 本事業により、災害発生時に安全な市街地へ確実に通行できる道路を整備したことで、岩子字坂脇地区（令和 3 年 3 月末現在 16 世帯 53 名が居住）の地域住民の生活の安全性、利便性の向上に寄与している。		
②コストに関する調査・分析・評価 本事業は、指名競争入札により事業発注している。また、再生材や現場発生材を有効活用して実施しており、コストは適切なものとする。		
③事業手法に関する調査・分析・評価		
	当初想定した事業期間	実際に有した事業期間
測量・設計	平成 24 年 6 月～平成 25 年 9 月	平成 24 年 6 月～平成 26 年 3 月
用地買収	平成 24 年 12 月～平成 26 年 3 月	平成 27 年 6 月～平成 27 年 8 月
工 事	平成 25 年 8 月～平成 27 年 3 月	平成 25 年 7 月～平成 26 年 9 月
相続未了地や所有権以外の権利が登記された土地の用地交渉、及び道路法線に係		

る地元調整に不測の日数を要したことから、測量・設計及び用地買収の事業期間が当初の想定より延長となった。用地買収については、事前に地権者等に了解を得た上で着工し、工事と並行しながら買収手続きを進めることで事業期間全体の短縮を図った。

また、当時は復興工事が各地で重なり、労働者確保や他工事との工程調整に時間を要したが、全体的なスケジュールを見直し、円滑な事業進捗を図ったことにより、類似事業と同程度の工程とすることができ、利用等には問題がなかったことから、事業手法は適切であったと評価できる。

事業担当部局

相馬市建設部土木課 電話番号：0244-37-2158

位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-1-9 事業名 道路事業（市街地相互接続道整備）（東部 338 号線）		
事業費総額 25,377 千円（国費 19,667 千円） （内訳：本工事費 14,950 千円、測量設計費 3,909 千円、用地費及補償費 6,518 千円）		
事業期間 平成 24 年度～平成 28 年度		
事業目的 東日本大震災により被災した地域から、市内の津波による被害がない安全な地域まで確実に通行できる道路を整備し、地域住民の生活の安全性・利便性の向上、及び地域経済産業の早期回復を図る。		
事業地区 相馬市岩子地区		
事業結果 岩子字坂脇地区と市街地の相互接続道を整備し、平成 26 年度から供用を開始。 【整備概要】 延長 L=249.9m、舗装幅員 W=5.0m		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>整備前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>整備後</p> </div> </div>		
事業の実績に関する評価		
①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 本事業により、災害発生時に安全な市街地へ確実に通行できる道路を整備したことで、岩子字坂脇地区（令和 3 年 3 月末現在 16 世帯 53 名が居住）の地域住民の生活の安全性、利便性の向上に寄与している。		
②コストに関する調査・分析・評価 本事業は、指名競争入札により事業発注している。また、再生材や現場発生材を有効活用して実施しており、コストは適切なものとする。		
③事業手法に関する調査・分析・評価		
	当初想定した事業期間	実際に有した事業期間
測量・設計	平成 24 年 6 月～平成 25 年 9 月	平成 24 年 6 月～平成 26 年 3 月
用地買収	平成 24 年 12 月～平成 26 年 3 月	平成 26 年 5 月～平成 29 年 1 月
工 事	平成 25 年 10 月～平成 27 年 3 月	平成 25 年 7 月～平成 26 年 9 月
相続未了地や所有権以外の権利が登記された土地の用地交渉、及び道路法線に係る地元調整に不測の日数を要したことから、測量・設計及び用地買収の事業期間が当		

初の想定より延長となった。用地買収については、事前に地権者等に了解を得た上で着工し、工事と並行しながら買収手続きを進めることで事業期間全体の短縮を図った。

また、当時は復興工事が各地で重なり、労働者確保や他工事との工程調整に時間を要したが、全体的なスケジュールを見直し、円滑な事業進捗を図ったことにより、類似事業と同程度の工程とすることができ、利用等には問題がなかったことから、事業手法は適切であったと評価できる。

事業担当部局

相馬市建設部土木課 電話番号：0244-37-2158

位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-1-11 事業名 道路事業（市街地相互接続道整備）（法定外道路）		
事業費総額 82,359千円（国費 63,828千円） （内訳：本工事費 73,426千円、測量設計費 8,440千円、用地費及補償費 493千円）		
事業期間 平成24年度～平成28年度		
事業目的 東日本大震災により被災した地域から、市内の津波による被害がない安全な地域まで確実に通行できる道路を整備し、地域住民の生活の安全性・利便性の向上、及び地域経済産業の早期回復を図る。		
事業地区 相馬市原釜地区		
事業結果 原釜字金草地区と市街地の相互接続道を整備し、平成28年度から供用を開始。 【整備概要】 延長 L=128.0m、舗装幅員 W=5.0m		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>整備前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>整備後</p> </div> </div>		
事業の実績に関する評価		
①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 本事業により、災害発生時に安全な市街地へ確実に通行できる道路を整備したことで、原釜字金草地区（令和3年3月末現在36世帯96名が居住）の地域住民の生活の安全性、利便性の向上に寄与している。		
②コストに関する調査・分析・評価 本事業は、指名競争入札により事業発注している。また、再生材や現場発生材を有効活用して実施しており、コストは適切なものとする。		
③事業手法に関する調査・分析・評価		
	当初想定した事業期間	実際に有した事業期間
測量・設計	平成24年6月～平成25年3月	平成24年6月～平成29年3月
用地買収	平成24年12月～平成26年3月	平成26年11月～平成27年8月
工 事	平成25年6月～平成27年3月	平成26年12月～平成28年4月
相続未了地や所有権以外の権利が登記された土地の用地交渉、及び道路法線に係る地元調整に不測の日数を要したことから、測量・設計及び用地買収の事業期間が当		

初の想定より延長となった。事前に地権者等に了解を得た上で着工し、用地買収及びそれに伴う調査委託（測量・設計）については工事と並行しながら進め、事業期間全体の短縮を図った。

また、当時は復興工事が各地で重なり、労働者確保や他工事との工程調整に時間を要したが、全体的なスケジュールを見直し、円滑な事業進捗を図ったことにより、類似事業と同程度の工程とすることができ、利用等には問題がなかったことから、事業手法は適切であったと評価できる。

事業担当部局

相馬市建設部土木課 電話番号：0244-37-2158

位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-1-12 事業名 道路事業（市街地相互接続道整備）（法定外道路）		
事業費総額 48,949千円（国費 37,936千円） （内訳：本工事費 38,014千円、測量設計費 5,541千円、用地費及補償費 5,394千円）		
事業期間 平成24年度～平成29年度		
事業目的 東日本大震災により被災した地域から、市内の津波による被害がない安全な地域まで確実に通行できる道路を整備し、地域住民の生活の安全性・利便性の向上、及び地域経済産業の早期回復を図る。		
事業地区 相馬市岩子地区		
事業結果 岩子字宝迫地区と市街地の相互接続道を整備し、平成29年度から供用を開始。 【整備概要】 延長 L=193.5m、舗装幅員 W=5.0m		
		
整備前	整備後	
事業の実績に関する評価		
①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 本事業により、災害発生時に安全な市街地へ確実に通行できる道路を整備したことで、岩子字宝迫地区（令和3年3月末現在25世帯70名が居住）の地域住民の生活の安全性、利便性の向上に寄与している。		
②コストに関する調査・分析・評価 本事業は、指名競争入札により事業発注している。また、再生材や現場発生材を有効活用して実施しており、コストは適切なものとする。		
③事業手法に関する調査・分析・評価		
	当初想定した事業期間	実際に有した事業期間
測量・設計	平成24年6月～平成25年3月	平成24年7月～平成26年3月
用地買収	平成24年12月～平成26年3月	平成27年10月～平成29年12月
工 事	平成25年10月～平成27年3月	平成27年12月～平成29年6月
相続未了地や所有権以外の権利が登記された土地の用地交渉、及び道路法線に係る地元調整に不測の日数を要したことから、測量・設計及び用地買収の事業期間が当初		

の想定より延長となった。用地買収については、事前に地権者等に了解を得た上で着工し、工事と並行しながら買収手続きを進めることで事業期間全体の短縮を図った。

また、当時は復興工事が各地で重なり、労働者確保や他工事との工程調整に時間を要したが、全体的なスケジュールを見直し、円滑な事業進捗を図ったことにより、類似事業と同程度の工程とすることができ、利用等には問題がなかったことから、事業手法は適切であったと評価できる。

事業担当部局

相馬市建設部土木課 電話番号：0244-37-2158

位置図



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-1-13 事業名 道路事業（市街地相互接続道整備）（市道：東部 328 号線）		
事業費総額 328,111 千円（国費 254,286 千円） （内訳：本工事費 219,290 千円、測量設計費 60,770 千円、用地費及補償費 48,051 千円）		
事業期間 平成 24 年度～令和元年度		
事業目的 東日本大震災により被災した地域から、市内の津波による被害がない安全な地域まで確実に通行できる道路を整備し、地域住民の生活の安全性・利便性の向上、及び地域経済産業の早期回復を図る。		
事業地区 相馬市岩子地区		
事業結果 岩子字宝迫地区と市街地の相互接続道を整備し、令和元年度から供用を開始。 【整備概要】 延長 L=1,577.0mm、舗装幅員 W=5.0m		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>整備前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>整備後</p> </div> </div>		
事業の実績に関する評価		
①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 本事業により、災害発生時に安全な市街地へ確実に通行できる道路を整備したことで、岩子字宝迫地区（令和 3 年 3 月末現在 25 世帯 70 名が居住）の地域住民の生活の安全性、利便性の向上に寄与している。		
②コストに関する調査・分析・評価 本事業は、指名競争入札により事業発注している。また、再生材や現場発生材を有効活用して実施しており、コストは適切なものとする。		
③事業手法に関する調査・分析・評価		
	当初想定した事業期間	実際に有した事業期間
測量・設計	平成 24 年 6 月～平成 25 年 3 月	平成 24 年 7 月～平成 31 年 3 月
用地買収	平成 24 年 12 月～平成 26 年 3 月	平成 27 年 10 月～令和 2 年 3 月
工 事	平成 25 年 10 月～平成 27 年 3 月	平成 28 年 2 月～令和 2 年 3 月
相続未了地や所有権以外の権利が登記された土地の用地交渉、及び道路法線に係る地元調整に不測の日数を要したことから、測量・設計及び用地買収の事業期間が当初		

の想定より延長となった。用地買収については、事前に地権者等に了解を得た上で着工し、工事と並行しながら買収手続きを進めることで事業期間全体の短縮を図った。

また、当時は復興工事が各地で重なり、労働者確保や他工事との工程調整に時間を要したが、全体的なスケジュールを見直し、円滑な事業進捗を図ったことにより、類似事業と同程度の工程とすることができ、利用等には問題がなかったことから、事業手法は適切であったと評価できる。

事業担当部局

相馬市建設部土木課 電話番号：0244-37-2158

位置図

